

株主通信

第89期 (2014年4月1日~2015年3月31日)



蛇の目ミシン工業株式会社

証券コード:6445

株主のみなさまへ

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申しあげます。

ここに第89期(2014年4月1日から2015年3月31日まで)の事業の概況についてご報告申しあげます。

当期における世界経済は、原油価格下落の影響を受けたロシアなど資源国経済の低迷が続き、欧州経済のデフレ化、中国経済の減速が懸念されながらも、雇用環境の改善により堅調な個人消費に支えられた米国ならびに先進国を中心に、緩やかな景気の拡大が続きました。

わが国経済におきましては、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動などの影響がありましたが、円安の定着、原油安や低金利による企業収益の改善と共に、緩やかな回復基調を辿っております。

このような中、当社グループにおきましては、3カ年にわたる中期経営計画の2年度目として前年度に実施した施策の効果を引出し、製造、販売及び管理コストの削減による価格競争力の強化を図りました。また、市場のニーズにマッチした家庭用ミシン及び卓上ロボットを投入し販売・サービスの拡大を図るなど、積極的な営業活動を行ってまいりました。

この結果、**当期の総売上高は46,019百万円(前期比1,323百万円増)、営業利益は2,961百万円(前期比55百万円増)となり、経常利益は2,711百万円(前期比357百万円増)、当期純利益は1,860百万円(前期比399百万円増)**を計上いたしました。

なお、当期の配当金につきましては、個別決算において2,361百万円の繰越欠損金を計上しており、利益配分が行えないため、株主のみなさまには誠に申し訳ございませんが、無配とさせていただきました。

当社グループといたしましては、収益力の高いグローバル企業を目指し、全社一丸となって中期経営計画の達成に向けて努力してまいりますので、株主のみなさまにおかれましては変わらぬご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申しあげます。

目 次

- P. 1 株主のみなさまへ
- P. 2 連結決算ハイライト
- P. 3 セグメント別概要
- P. 5 連結財務諸表(要旨)
- P. 7 トピックス
- P.13 ジャノメソーイング教室
- P.14 会社概要 他



代表取締役会長 真登八郎 代表取締役社長 大易 道夫

連結決算ハイライト

●売上高 (単位:百万円)



●営業利益(単位:百万円)

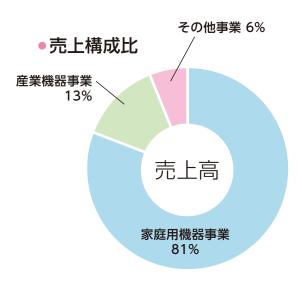


経常利益(単位:百万円)

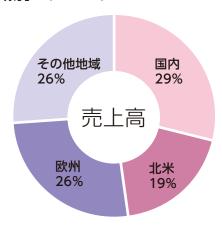


●当期純利益(単位:百万円)





●地域別セグメント



※詳細につきましては、当社ホームページをご覧ください。

ホームページ http://www.janome.co.jp

家庭用機器事業

事業概要

ミシン・24 時間風呂等の家庭用機器の製造・販売

海外ミシン市場におきましては、北米・欧州で新機種の販売が好調に推移しましたが、ウクライナ情勢に端を発したロシア経済の混乱や新興国通貨の下落により、ロシアや中南米では厳しい市場環境が続き、海外ミシンの販売台数は遺憾ながら前期比6万台減の180万台となりました。海外売上高につきましては、為替が円安基調で推移したこともあり、30.058百万円(前期比745百万円増)となりました。



HORIZON Memory Craft 15000 Version2

国内ミシン市場におきましては、実用タイプのコンピュータミシン や電子ミシンの新機種を専門店や量販店向けに投入するなど、新製品

を中心に積極的な需要喚起に努めました。しかしながら、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動が予想を上回ったことなどにより、国内ミシンの販売台数は19万台(前期比1万台減)、**国内売上高は5,866 百万円(前期比508百万円減)**となりました。

また、24時間風呂・整水器販売の**売上高は1.376百万円(前期比111百万円減)**となりました。

以上の結果、**家庭用機器事業の売上高は37,301百万円(前期比126百万円増)、営業利益は2,357百万円(前期比124百万円減)**となりました。



ミシン販売台数推移 (単位:万台)



産業機器事業

事業概要 卓上ロボット・エレクトロプレス・ダイカスト鋳造品等の産業機器の製造・販売

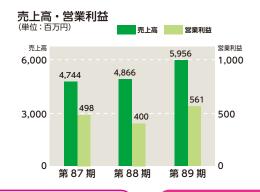
卓上ロボット・エレクトロプレス事業におきましては、スマートフォン及びタブレット等の組み立てを行う携帯情報端末機器メーカーや、省力化、品質向上に力を入れている自動車部品メーカーなどの製造関連企業を中心に、積極的な販売、サービス向上に努めました。この結果、販売台数は4.800台と過去最高を達成いたしました。

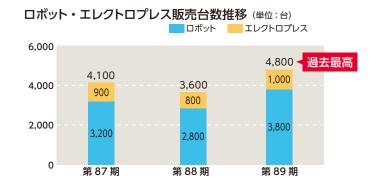
ダイカスト鋳造関連事業におきましては積極的な営業受注活動、品質改善活動等 により自動車部品関連に加え精密機器、産業機器部品など多方面からの受注が増え ており、好調に推移いたしました。



卓 トロボット JR3404E

以上の結果、**産業機器事業の売上高は5,956百万円(前期比1,090百万円増)、営業利益は561百万円(前期比161百万円増**)となりました。

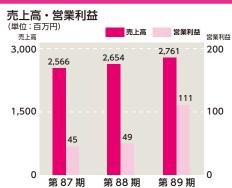




その他事業

事業概要 IT ソフトウェア・情報処理サービス、24 時間風呂の据付・メンテナンスサービス、不動産賃貸 他

Tソフトウェア・情報処理サービス、24時間風呂の据付・メンテナンスサービスなどに、不動産賃貸収入を加えたその他事業の売上高は2,761百万円(前期比106百万円増)となり、また、一般管理費の削減等に努めた結果、営業利益は111百万円(前期比61百万円増)となりました。



連結財務諸表(要旨)

連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

連結損益計算書(要旨)

/ 	五一口
(単位	\Box \Box \Box

区分	当期	前期
	2015年3月31日	2014年3月31日
資産の部		
流動資産	23,557	21,909
固定資産	30,496	29,500
1 ▶ 資産合計	54,054	51,409
負債の部		
流動負債	20,278	18,665
固定負債	12,079	14,627
2 ▶ 負債合計	32,358	33,292
純資産の部		
株主資本	13,948	11,958
その他の包括利益累認	計額 6,993	5,506
少数株主持分	754	652
3 ▶ 純資産合計	21,696	18,117
負債純資産合計	54,054	51,409

区分	当 期	前期
	2014年4月 1日から 2015年3月31日まで	2013年4月 1日から 2014年3月31日まで
売上高	46,019	44,696
売上原価	28,315	27,430
売上総利益	17,704	17,266
販売費及び一般管理費	14,743	14,361
営業利益	2,961	2,905
営業外収益	199	367
営業外費用	449	919
経常利益	2,711	2,353
特別利益	14	21
特別損失	337	350
税金等調整前当期純利益	2,388	2,025
法人税等	506	473
少数株主利益	21	90
当期純利益	1,860	1,460

POINT

●資産の部

流動資産は、受取手形及び売掛金、商品及び製品等の増加により、前期に比べ1,648百万円増加いたしました。 固定資産は、建物及び構築物の取得などにより、前期に比べ996百万円増加いたしました。

2負債の部

流動負債は短期借入金の増加等により、前期に比べ1,613百万円増加いたしました。固定負債は長期借入金の減少等により、前期に比べ2,547百万円減少いたしました。

❸純資産の部

当期純利益、為替換算調整勘定の増加等により、純資産合計では前期に比べ3.578百万円の増加となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)(単位:百万円)

	区 分	当 期
		2014年4月 1日から 2015年3月31日まで
0	▶ 営業活動によるキャッシュ・フロー	2,386
2	▶ 投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,664
3	▶ 財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,406
	現金及び現金同等物の当期末残高	5,918

POINT

●営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前当期純利益の計上等により2,386百万円の資金の増加となりました。

❷投資活動によるキャッシュ・フロー

製造子会社の建物、機械設備や新機種に係る金型等の有形固定資産取得による支出1,186百万円、ソフトウェア等の無形固定資産取得による支出560百万円などにより、1.664百万円の資金の減少となりました。

❸財務活動によるキャッシュ・フロー

借入金の返済等により1,406百万円の資金の減少となりました。

(単位:百万円)

連結株主資本等変動計算書 (2014年4月1日から2015年3月31日まで)

株主資本 その他の少数株主 純 資 産 包括利益累計額 持 資本金 資本剰余金 利益剰余金 自己株式 株主資本合計 当期首残高 11.372 823 87 △324 11.958 5.506 652 18.117 連結会計年度中の変動額 当期純利益 1.860 1.860 1.860 自己株式の取得 $\triangle 0$ \triangle 0 \triangle 0 土地再評価差額金の取崩 129 129 129 株主資本以外の項目の 1.486 101 1.588 連結会計年度中の変動額(純額) 連結会計年度中の変動額合計 1,990 \triangle 0 1,990 1,486 101 3,578 当期末残高 11.372 823 2.077 △325 13.948 6.993 754 21,696

中期経営計画『 JANOME EVOLUTION 2015 』について

当社は、高収益体質と早期復配・継続的な配当ができる体制の確立を目指し、中期経営計画に取り組んでいます。

当期の主要な取り組み

- ・海外向け最高級機種の新バージョン及び中~高級 機種の新製品を発売
- ・「ジャノメソーイングパーク長岡店」(新潟県長岡市) をオープン
- ・スマートフォンやタブレット関連の製造企業及び 自動車部品メーカーなどを中心に卓上ロボットの 需要を喚起
- ・ダイカスト製品の需要に対応し、国内製造子会社 の工場棟を建て替え(P.8をご参照ください)





Skyline S5 (海外向け)

ソーイングパーク長岡店

今後の取り組み

研究開発部門

組織、開発手法の改革開発のスピードアップ



生産部門

生産効率の向上 徹底した原価削減

今期の見通し



ミシン事業

〈北米・欧州・中東市場〉

高品質、高付加価値製品で販売を拡大
〈新興国市場〉

ブランドの確立、販売基盤の整備 〈国内市場〉

販売チャネル(訪問販売、代理店販売、 量販店販売等)に合わせた販売組織の再構築

産業機器事業

人件費増加に伴う各国企業の省力化、 自動化など製造設備投資需要への対応

顧客対応のさらなる迅速化を図り、 サービス体制を整備・強化

ジャノメダイカスト新3号棟が完成

山梨県都留市にあるジャノメダイカスト (株) の新3号棟が完成しました。(地上2階建て、延べ面積4,406m²)

同社では、ミシンのアームをはじめ、自動車・光学機器・医療機器等の幅広い分野で使用されているダイカスト部品(アルミ及びマグネシウム)を生産しています。

新3号棟の完成で、生産能力が向上したことにより、更なる 需要の増加に対応していきます。



ダイカストとは ----



アルミなどの金属を精密な金型に圧入することにより、高精度で表面が滑らかな鋳物を高い生産性で大量に生産する鋳造方式の一種、またその製品をいいます。

ダイカスト製品は、厚さが薄くても強度があり、複雑な形状にも対応できるため、製品・部品の軽量化も図れます。

ジャノメダイカスト(株)では、ミシンで培った技術を継承し、高精度・肉薄・複数形状の一体化等、ダイカストの特徴や優位性を最大限に生かし、あらゆる分野のお客様のご要望にお応えしています。

ミニ企画展「ミシンを識(し)る-その構造発達と美一」に当社ミシンが展示されました

2014年12月2日(火)~2015年2月14日(土) 東京農工大学 小金井キャンパス内科学博物館

当企画展では、同館が収蔵する数百台を超える国内外の家庭用ミシンコレクションの中から、ミシンの特徴や歴史とともに、多種多様なミシンが紹介されました。

会場には、手回しミシン、足踏みミシン、電動ミシンからコンピュータミシンまで幅広く展示され、同校の近隣にあった当社の旧小金井工場 (1998年、現東京工場 (八王子) に統合) が寄贈したミシンも多数展示されました。



日本各地でワークショップを開催

当社は、日本各地で行われる展示会や「Bobinage」で、手づくりやミシンを楽しんでいただける様々なワークショップを開催しています。

●第30回 2014手づくりフェスティバル in 北海道 2014年10月10日(金)・11日(土) 北海道立総合体育センター(北海きたえーる)



2015年2月20日(金)・21日(土)

インテックス大阪3号館

●第48回 大阪ミシンショー&ハンズフェスティバル



●第20回 手づくりフェア in 九州 2015年2月20日(金)・21日(土) マリンメッセ福岡



●ソーイングカーニバル 2015年3月5日(木) 吉祥寺[Bobinage]

躍進する産業機器!各種展示会へ出展

●The ASSEMBLY Show 2014

2014年10月28日(火)~30日(木) アメリカ・イリノイ州ローズモント

本展示会は、組立・ハンドリング技術など、自動化システム関連商品の出展とセミナーが開催される北米最大級の展示会です。この展示会に当社グループのジャノメインダストリアルエクイプメントアメリカ社が出展し、卓上ロボットの塗布、ねじ締め、エレクトロプレスのネットワーク通信機能、圧入工程等の実演を行いました。中でも、卓上ロボットの新製品「JR3000シリーズ」(2014年10月1日発売)の全方位ねじ締めは注目度が高く、当社製品の技術力を認識していただく絶好の機会となりました。

●第16回中国国際工業博覧会 2014年11月4日(火)~8日(土) 中国·上海

昨年に続いて、今年も当社グループのジャノメ インダストリアル エクイプメント上海社が中国国内最大級の工業見本市である本博覧会

に出展し、アプリケーションが豊富な卓上ロボットをはじめ、エレクトロプレスの複数台同時制御のネットワークシステムなど、様々な実演を行いました。直交ロボット「JC-2シリーズ」を中心に、子どもから大人まで多くの来場者の関心を集めました。





新製品 **直交ロボット JC-3シリーズ** (2015年4月16日発売)

好評発売中の多機能型卓上ロボット「JR3000シリーズ」の高機能と使いやすさを継承した直交ロボット「JC-3シリーズ」を発売いたしました。

「JC-3シリーズ」では、「JR3000シリーズ」で好評のシステムソ

フトを採用し、多用途に使用可能な「標準仕様」に加え、塗布作業において優れた軌跡性能を有する 「塗布仕様」、エラー検出など便利な機能を備えた「ねじ締め仕様」を用意しています。

「海外危機管理机上訓練」を開催 2014年12月2日(火)

本訓練は、外部講師を招き、海外子会社において有事の際など、段階ごとに何をしなければならないのかについて、グループ別に議論しながら進められました。その中で、当社の危機対応規定、海外緊急時対応細則に沿い、初動対応を中心に講師より実践的に解説いただきました。



女性の役員・管理職登用に関する取り組み

当社は、自主行動計画を策定し、2020年に本社の女性管理職を現状の10%から20%とすることを目指し、以下に取り組んでいます。

女性のキャリア開発への取り組み

女性従業員のキャリアアップ研修・階層別研修等を通じた育成を進め、管理職候補の女性 従業員の意識・スキルの向上を図っています。

新卒採用への取り組み

男女を問わず優秀な人材を積極的に採用し、 将来の中核を担う管理職候補に向けた計画的 な育成を目指しています。

育児・介護制度への取り組み

従業員の家庭と仕事の両立をより充実させる ために、育児、介護に関する制度を法定基準

以上の内容でサポート しています。

当社は、「子育てサポート企業」として、2008年厚生労働大臣の認定する「くるみんマーク」を取得しています。



女性管理職登用への取り組み

女性管理職を2020年には20%にすることを 目標にしています。

男性管理職数 … 84名(90%)

女性管理職数 … 9名(10%)

平均勤続年数(参考データ)

男性従業員 … 16年6ヶ月

女性従業員 … 14年8ヶ月

※2015年3月末日現在 対象:本社

株主様の声

Q1. 今回行う株式併合とは?

2015年10月1日を効力発生日として、当社普通株式10株を1株とするものです。

同時に売買単位を1,000株から100株に変更しますので、実質的な投資単位は変わりません。また、原則として資産価値にも影響はありません。

詳しくは同封の「株式併合に伴う当社株式のお取り扱いについて」及び当社ホームページ (http://www.janome.co.jp) に掲載している 「株式併合及び単元株式数の変更に関するお知らせ」をご覧ください。

Q2. なぜ配当しないのか?

個別決算において繰越欠損金が約23億6千万円 残っているため、法律上これを解消しない限り、 配当することができません。

復配の目処について、具体的に申し上げることはできませんが、全社一丸となって収益拡大に取り組んでおり、早期復配・継続的な配当ができる体制を目指し努力しています。

Q3. ミシン及び卓上ロボットの 最大販売市場は?

調査機関による正確な統計は出ていませんが、 当社では、ミシンは北米市場、卓上ロボットは製造工場の多い中国を中心としたアジア市場と推定しています。

なお、卓上ロボットは商社経由で納入する事例も多いことから、最終的な納入先は把握できない部分があります。

Q4. 卓上ロボットの用途は?

卓上ロボットは、先端に取り付ける器具により、 様々な作業に対応することができます。

(塗布・ねじ締め・はんだ付け・基板分割など)



そのため、部品加工をはじめ、組み立てや検査など、 様々な製造現場で使用されています。

近年はスマートフォンやタブレットなど情報端末機器 関連工場での需要が増えています。

ジャノメソーイング教室

* 材料 *

- ●表布:麻 ············· 幅90cm×60cm
- ●裏布:チェック …… 幅90cm×60cm
- ●ひも:2cm幅 ······ 80cm 2本
- ■刺しゅう用接着芯(刺しゅうを入れる場合)

※製作時間のめやす311時間 (刺しゅう時間を含む))

★表を無地・裏にチェック布を使用して いますがお好みでアレンジできます。



出来上がりサイズ 幅88cm×40cm(ひも含まず)

① 赤枠の位置の裏側に刺 しゅう用接着芯を貼り、 表布にお好みの刺しゅ うを入れる。

(刺しゅうをしない場) 合1はとばして2か ら始めてください。)

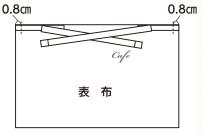
中心 -12cm 60cm 10cm 表布

※写真の刺しゅうは中央ですが、ここでは若干左寄りにしてい ます。刺しゅうの位置はお好みで調整してください。

三つ折り ② エプロンにつけるひもの端がほつれな いよう、三つ折りして縫う。(2本とも) 1.5cm

エプロンに縫いつける端はそのまま。

③ 表布に2ヶ所ひも を仮止めする。



4 表布と裏布を中 表に重ね、返し □を10㎝残し まわりを縫う。

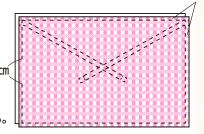
返し

し

10cm

表布

※ひもが縫い込まれ ないように注意する。

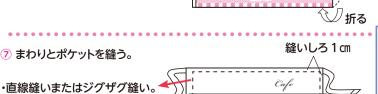


⑤ 返し口から表に返す。



6 ポケット分を20cm程度折る。

7 まわりとポケットを縫う。



裏布

Cafe

★飾り模様例



縫いしろ 1 cm

飾り模様でステッチ (直線縫いでもOK)

20㎝程度

一般社団法人日本縫製機械工業会 主催

「第36回 ホームソーイング 小・中・高校生 作品コンクール」 実施のお知らせ

本コンクールは、次世代を担う若い方に、ミシンを使用した作品作りを通し、 ソーイングの楽しさを再認識してもらい、家庭用ミシンの利用技術の理解と普及 を図ることを目的として、毎年実施されています。

詳しくは一般社団法人日本縫製機械工業会ホームページをご覧ください。

URL: http://www.jasma.or.jp

※小学生(5・6年生)から高校生までの作品を募集しています。

応募締切:2015年10月30日(金) (経済産業大臣賞・文部科学大臣賞等各賞授与を予定)

※当社は当コンクールの協力会員です。





ピンクリボン運動を応援しています

当社ではピンクリボンモデル商品の売上げの一部を、 公益財団法人日本対がん協会の「乳がんをなくす ほほえみ基金」に寄付しています。

ほほえみ基金とは、公益財団法人日本対がん協会が乳がん征圧のために設けた基金です。ほほえみ基金で集められた寄付金は、主にマンモグラフィや検診機器の整備、 医師・放射線技師の育成、患者支援などに役立てられます。

●会社概要 (2015年3月31日現在)

商 号 蛇の目ミシン工業株式会社

英 訳 名 JANOME SEWING MACHINE CO., LTD.

本 社 東京都八王子市狭間町 1463 番地

創 業 1921 (大正10) 年 10 月

設 立 1950 (昭和25) 年 6 月

資 本 金 113億7,300万円

連結従業員数 3,528 名

●役 員 (2015年6月19日現在)

代表取締役会長 眞壁 八郎 代表取締役社長 大場 道夫 取締役常務執行役員 石水 寛治 取締役常務執行役員 河島 正司 取締役常務執行役員 喜多村 昌幸

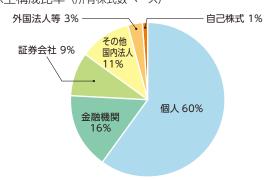
取締役佐藤慎一常勤監査役村山義晴監査役中澤真二監査役田中敬三

●株式の状況 (2015年3月31日現在)

発行済株式総数 195,214,448株

株主数 17,550 名 (前期末比 999 名増)

株主構成比率(所有株式数ベース)



● 株主メモ

事業年度毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月下旬

基 準 日 毎年3月31日

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号

及び特別口座の三井住友信託銀行株式会社

口座管理機関

同 連 絡 先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-782-031 (フリーダイヤル)

取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で

行っております。

公告の方法 電子公告の方法により行います。ただし、やむを得ない事由により

電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

公告掲載の URL http://www.janome.co.jp

株式のお手続き等についてのご注意

- 1. 住所変更等、弊社株式に関するお手続きにつきましては、口座を開設 されている口座管理機関(証券会社等)にお問い合わせください。
- 2. 特別口座の株式に関する各種お手続きにつきましては、三井住友信 託銀行株式会社が口座管理機関となっておりますので、上記連絡先 にお問い合わせください。

蛇の目ミシン工業株式会社

〒193-0941 東京都八王子市狭間町1463番地 TEL. 042 (661) 3071

